

## 関係団体からの情報提供

|                                 | ページ番号 |
|---------------------------------|-------|
| 資料 1 横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部のご紹介 | P1    |
| 資料 2 横浜防災ライセンスとつかのご紹介           | P5    |
| 資料 3 とつか災害ネットのご紹介               | P7    |
| 資料 4 エフエム戸塚のご紹介                 | P9    |



## 地震発生時の区役所災害対策本部との非常通信連絡がアマチュア無線により確保できます。

私たちは、横浜市との協定に従い、被災時に**地域防災拠点運営委員会**の情報伝達をサポートするボランティア団体です。横浜市のデジタル移動無線を補完するため区役所と地域防災拠点間の情報連絡を担当します。運営委員会とのスムーズな連携ができる様、地域防災拠点の訓練にも参加しています。戸塚区役所総務課危機管理担当部署宛てに当支部への通信訓練への参加要請をお願いします。

### 1. アマチュア無線による非常時通信の強み(①、②)とボランティア活動への利用範囲拡大(③)について

- ① 各区ごとに割り当ててあるアマチュア無線の周波数を使って交信を行うので、各区の災害対策本部との情報通信を円滑に行えます。
- ② **区内の他の地域防災拠点と区役所に設置したアマチュア無線局間の交信で、災害対策本部とマルチメディアでの通信ができます。防災拠点間の直接交信も可能で、地域全体の状況を把握できます。携帯型アマチュア無線機で、地域内外に移動中も通信できます。**
- ③ アマチュア無線の制度改正がなされ、非常通信だけでなく、ボランティア活動として、災害復旧時等でもアマチュア無線を使うことが可能となりました。通信のボランティアに参加しませんか？メンバー募集中です！

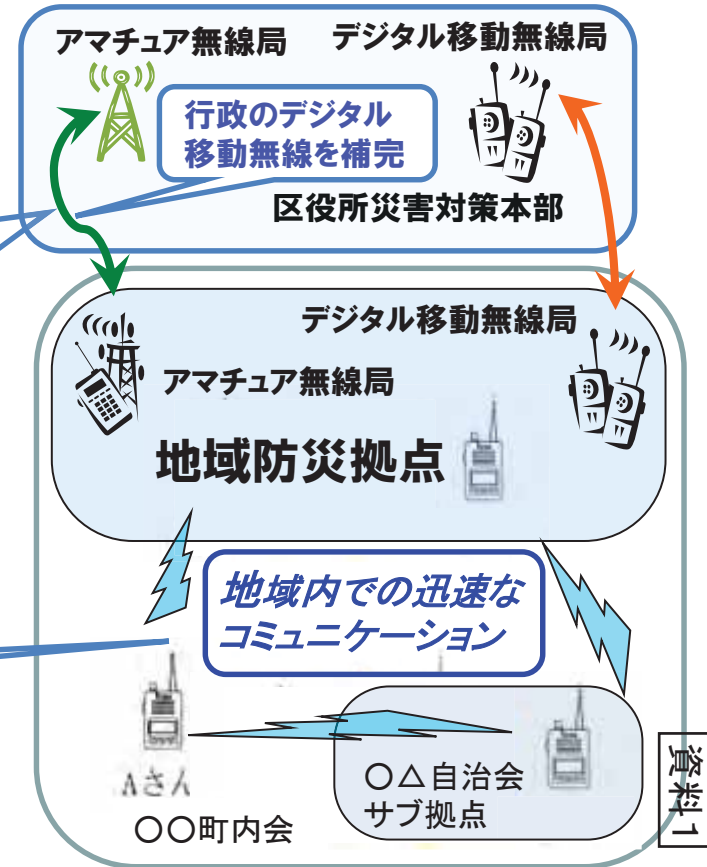
### 2. 各地域防災拠点運営委員会により実施されている防災訓練プログラムに組み込んで頂いて、次のような「通信訓練」を実施しています。

#### 通信訓練内容

- (1) 備蓄庫に保管されているアンテナ等と当協会員の無線機を使用し、アマチュア無線局を地域防災拠点内に開設します。
- (2) 戸塚区役所⇄地域防災拠点間で非常時を想定した模擬非常通信(通信チャンネル確保、無線局の開局報告など)を行います。
- (3) さらに、地域防災拠点の運営委員会から区役所災害対策本部に送る被害情報等をアマチュア無線で伝達します。

### 3. 地域防災拠点運営委員会の円滑な活動には地域内のコミュニケーションが不可欠です。現在、ライセンスフリー(誰でも使える)・トランシーバーは、次の3種類があります。これらの紹介・体験、導入・運用のサポートやアドバイスを行っています。

- (1) 特定小電力トランシーバー (備蓄庫に保管あり、主に拠点内で利用可)
- (2) デジタル小電力コミュニティ無線 (概ね2kmの距離で通話可能)
- (3) デジタル簡易無線 (概ね4kmの距離で通話可能、総合通信局に登録要)







横浜市アマチュア無線非常通信協力会は、災害時に情報伝達分野で防災拠点のお手伝いをするボランティア団体です

アマチュア無線を通して一緒に地域貢献しませんか！

# メンバー募集中！！

- 市役所、区役所には非常時の情報収集、伝達を目的としたアマチュア無線局が設置されています
- 横浜市アマチュア無線非常通信協力会は横浜市と協定を結び、横浜市の要請により活動します
- 横浜市アマチュア無線非常通信協力会は区役所と地域防災拠点とをアマチュア無線で繋ぎます



イラスト JARL アマチュア局の非常通信マニュアルより

## JR1YWP

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 戸塚区支部

## JQ1YZA

戸塚アマチュア無線クラブ

### 非常通信協力会のあゆみ

横浜市では全国に先駆けてアマチュア無線を非常通信で活用する体制を構築しました  
 1971年に発生したカリフォルニア大地震でアマチュア無線が非常通信分野で有効との調査結果から情報収集、授受の円滑化を目的に横浜市と協力が協定を結びアマチュア無線と行政が連携する体制がスタート

### 活動内容

非常時には市からの要請により市内の情報収集、区役所本部と地域防災拠点間の情報伝達を主にを行います  
 平時には非常時に円滑に運用ができるよう訓練等を行っています

- 地域防災拠点での訓練に参画、交信体験
- 区役所局の運用
- 毎月1回のロールコールによる通信訓練

### あなたの参加をお待ちしています

戸塚区支部では約50名の会員で活動を行っています  
 戸塚区には35の地域防災拠点があり、その全てに担当会員を配置できていません  
 無線の免許をお持ちの方の参加をお待ちしています  
 免許をお持ちでない方には免許取得をサポートします  
 気軽にお声がけください

### 入会希望・お問い合わせはこちら

戸塚アマチュア無線クラブ

HP: <https://tarc.yokohama>

メール: [tarc@tarc.yokohama](mailto:tarc@tarc.yokohama)

スマートフォンからは





# 「横浜防災ライセンス とつか」のご紹介

## 当会の目的

- ① 地域防災力の維持向上
    - 皆様の自治会・町内会・地域防災拠点運営委員会が開催する防災活動への協力・支援
  - ② 戸塚区防災計画に基づく支援
    - 防災ライセンスリーダーのネットワークづくりや資機材取扱支援並びに情報提供
  - ③ 防災に関する知識技術の普及・啓発活動
- 以上の目的の達成に向けて、戸塚区で発足したボランティア団体です。

## 横浜防災ライセンスとは・・・

※横浜市では地域防災拠点に備蓄した防災資機材(生活・救助資機材)の取扱講習会を開催しています。そこに参加し、学んだ方に資機材取扱リーダーとして「横浜防災ライセンスリーダー証」を発行しています。この資機材取扱リーダーが各地域防災拠点の防災活動に参画することで地域防災力の向上を図っています。(横浜市総務局所管事業)

## 活動内容

- ① 地域防災拠点に保管されている、生活・救助資機材の正しく安全な取扱い方の説明
  - 炊飯器利用方法、トイレ関連全般、**地下給水タンクの給水訓練(水道局監修必須)**、レスキュージャッキ、毛布担架訓練、エンジンカッター、発電機・投光器等の利活用
- ② 資機材のメンテナンス(動作確認、オイル点検、使用后点検等、確実にいきます)
- ③ 防災ライセンスリーダーのフォローアップ研修、育成(各拠点で活躍できるように)
- ④ 防災教育(子供から大人まで 講習会形式 炊飯袋の利用、家具転倒防止等)

## 連絡先

地域防災拠点運営委員会において、防災備蓄庫の資機材の事で何かお困りのことがありましたら、下記の連絡先 E メールアドレス、または、拠点担当の係長、総務課の防災担当を通してご連絡頂いても結構です。

特に初めて拠点運営される方には是非とも、お手伝いさせて下さい。

## ～最後に～

当会の活動を安定的に継続させていくため、以下の点につきご理解いただければ幸いです。

**事前連絡** 訓練の多い時期は、協力要請のご希望に添えない場合があります。早めのご連絡をお願いします。

**謝金** 一拠点につき、決まった金額はありませんが、ご協力願えれば幸いです。(派遣人数関係ありません) 必要に応じて領収書(代表者印有無)発行します。



連絡先 E メール : [totsukabousai@yahoo.co.jp](mailto:totsukabousai@yahoo.co.jp) 代表 中村文彦



## とつか災害ネットのご紹介

万が一戸塚区で大規模災害が発生したときには、戸塚区災害ボランティアセンターが立ち上がります。この時、戸塚区へ支援に来たボランティアは受入・調整され地域防災拠点・自治会等被災された方々のニーズ(派遣要望)を元に区内各所へと派遣されます。

このボランティアを派遣する役割を担う団体が「とつか災害ネット」です。

この災害ボランティアセンターは、戸塚区社会福祉協議会と私達が協力して設置運営を行います。

ボランティアの受入・調整等を円滑に行い、地域の支援に役立てるためには一定以上の技術を必要とするため、平常時から災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(シミュレーション)、自治会・町内会、そして地域防災拠点運営委員会を始めとした地域の方々との協力関係が必要不可欠です。

### 【地域防災拠点等との関わり】

日頃の拠点運営委員会においては訓練内容や備えについての助言等をさせて頂いたり、拠点運営委員会の皆様と共に災害ボランティアセンター(以下災害 VC)開設受入訓練を行う等協力関係を築き有事に備えます。また拠点訓練当日には災害 VC の説明やその他拠点訓練のお手伝いもさせて頂きます。

※マンネリ化した訓練等からの脱却、より実践的な取組に挑戦しませんか、私達は皆様と一緒に地域で防災・減災を考えていきます。  
地域皆で助かるための第一歩を！

## 戸塚区災害ボランティアセンターとは？



連絡先：とつか災害ネット（正式名称：とつか災害救援活動ネットワーク）

連絡先アドレス [totsukasaigai@yahoo.co.jp](mailto:totsukasaigai@yahoo.co.jp)

フェイスブックで防災情報発信中！ ホームページ(HP)「とつか災害ネット」あり。



エフエム戸塚 83.7MHz

災害・防災編



## 基本的指針

コミュニティ放送局であるエフエム戸塚は**危機管理メディア**としての責務があり、地域密着型の番組編成や制作を行っています。

いざ、**災害時には最優先に緊急放送を実施**するため、震災等による停電に対応する**予備送信設備**（送信機、電源設備等）を完備しています。

情報は防災協定を締結している戸塚区・栄区・泉区、そして各区警察署・消防署などの機関との連携で迅速に入手し、正確に発信します。

平常時にも**防災情報を発信**し、**緊急放送の訓練**（※）を実施しています。

（※**緊急割込み放送**）毎月、生放送中に戸塚区・栄区の総務部危機管理担当者と訓練を行っています。昨年は栄区地域防災拠点訓練中にも実施いたしました。

## 防災・備えの発信

### とつかの力

（10分コーナー）

毎週水曜日・12:15～  
週替わりで

戸塚区長・戸塚警察署・戸塚消防署からご出演

### 栄区

（10分コーナー）

第2・3火曜日  
13:15～

栄警察署・栄消防署からご出演

## 戸塚区・戸塚防災・防犯インフォメーション

11回～12回／日

# ラジオ

◆番組表  
毎年4月・10月の  
改編時に発行



インターネットラジオも併行して聴取していただきたく

## Radimo

アプリのダウンロード（無料）をおすすめしています。



パソコンの場合【JCBA internet simul radio】



地域の皆さんに日頃から  
ラジオを**聴いて**いただき、**慣れ親しんで**

いただくよう、戸塚区・栄区の  
約8万世帯に番組表を配布しています。

**地域情報満載の生放送をお楽しみください。**

# 大型ビジョン



商業施設の北側壁面3画面  
ビジョンサイズ W3,200mm × H2,240mm  
(320pix × 224pix)  
(中央のビジョンでは共同通信ニュースを配信中)



モレラパーク（イベント広場）  
ビジョンサイズ W3,600mm × H2,400mm  
(384pix × 250pix)

JR 東戸塚駅から10秒のところにあるため、  
駅を利用する方は目にします。

東戸塚駅は全国85位の乗降率であり、  
1日約12万人が利用します。

行政からの防災・防犯に関する映像を放映する  
こともあります。

駅周辺混乱時には情報を映像で発信することが  
できます。

# スタジオ



モレラ東戸塚スタジオ  
JR 東戸塚駅西口・モレラ東戸塚



サクラスタジオ  
JR 戸塚駅西口・サクラ戸塚

# 義援金活動

被災地を支援する活動を継続して行っています。

## 義援金活動実績

東日本大震災 / 熊本地震復興支援 / 熊本城復興支援 /  
九州豪雨 福岡県東峰村 / 九州豪雨 大分県日田市 /  
西日本豪雨 / 北海道地震 / 令和台風 / 令和2年豪雨 /  
福島県沖地震 / 熱海市土石流災害 / 能登半島地震

# 情報提供のお願い

お寄せいただいた情報を発信したり（情報の精査の上）、災害時に情報をお寄せいただいたり、  
現場からの中継（安全性確認の上）など積極的に行ってまいります。

地域の皆様からの現場の声を発信します。